科目名	管理会計論Ｂ　　Managerial Accounting B						
科目担当者	櫻井 俊男　　SAKURAI Toshio						
単位数	２	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	管理会計論は簿記会計分野の応用領域で、経営管理に会計数値を提供するものである。社会科学である以上、「使える理論」「企業経営を指導」するため、ケーススタディーをもとに、管理会計的な思考の習熟を判定する。 部分的な知識ではなく、俯瞰できる知恵を重視する。 業経営を会計的なセンスで理解する。						
授業の到達目標	経営学部教科のうち、会計関連科目の占める割合も比較的高いので下記項目を理解できるようにする。 ① 本講義では、企業活動の成果としての利益創出はどのようになされるかを、前期講義の損益分岐点図表を公式にて理解できる。 ② 会計学関連の応用として企業のすべての分野に必要とされる管理手法としての会計の知識「管理会計論」の概要を理解できる。 ③ 企業の経営状況を損益分岐点公式により理解すると共に、利益計画、投資計画の二面を、上記公式により、検証することが本講座の到達目標でることを、理解してほしい。						

授業計画・内容		
	1	管理会計手法の損益分岐点分析を公式により学習する(1)
	2	管理会計手法の損益分岐点分析を公式により学習する(2)
	3	管理会計手法の損益分岐点分析を公式により学習する(3)
	4	管理会計手法の損益分岐点分析を公式により学習する(4)
	5	管理会計手法の損益分岐点分析を公式により学習する(5)
	6	利益計画に有効な損益分岐点公式の学習(1)
	7	利益計画に有効な損益分岐点公式の学習(2)
	8	利益計画に有効な損益分岐点公式の学習(3)
	9	利益計画に有効な損益分岐点公式の学習(4)
	10	投資計画に有効な損益分岐点公式を学習する(1)
	11	投資計画に有効な損益分岐点公式を学習する(2)
	12	投資計画に有効な損益分岐点公式を学習する(3)
	13	ケーススタディー(1)（予定：企業倒産とベンチャー企業の分析と計画）
	14	ケーススタディー(2)（予定：企業倒産とベンチャー企業の分析と計画）
	15	ケーススタディー(3)（予定：企業倒産とベンチャー企業の分析と計画）

授業外学修 (事前学修)	講義毎に事前に資料等を配布するので、事前学習としてあらかじめ計算等をしておくこと(概ね各項目 2 時間程度)
授業外学修 (事後学修)	講義終了後、講義時に新たに配布された資料等を検証する(概ね各項目 2 時間程度)

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	50%	①、②、③、④
	小テスト	30%	①、②、③、④
	課題レポート	20%	①、②、③、④

評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	講義時に通知　原則として事前配布資料を利用して講義を行う
参考文献	必要な場合通知
その他	